

案件概要書

2023 年 12 月 19 日

1. 基本情報

- (1) 国名： エチオピア連邦民主共和国（以下、エチオピアという。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名： アディスアベバ市（人口約 522 万人）
- (3) 案件名： アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画
(The Project for the Improvement of the Specialized Hospital for Communicable Diseases Treatment in Addis Ababa)
- (4) 計画の要約： 本計画は、国立聖ペテロ病院において、感染症診断・治療及び研修のための施設・機材を整備することにより、質の高い医療及び研修の提供が可能な体制強化を図り、もってエチオピアの保健システムの構築及び医療サービスの質の向上に寄与する。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

エチオピアは、アフリカ連合（AU）や国連アフリカ経済委員会（UNECA）の本部を有し、アフリカ外交の中心地として位置づけられる。同国への支援は、二国間の友好・協力関係のみならず、対アフリカ外交における、我が国のプレゼンスのさらなる向上に寄与するものである。

我が国は 2023 年 5 月の G7 広島サミットにおいて、「COVID-19 後の時代に向けた国際保健に貢献するため、UHC の達成を支援し、保健分野の緊急事態の予防・備え・対応を強化する」ことを表明している。本事業を通じた感染症医療体制の強化は、この政策を具体化するものであり、外交的意義は大きい。

また、アフリカ疾病予防管理センター（CDC）との間で、本事業で取り組む感染医療体制の強化について連携することを通じて、同国のみならずアフリカ各国への知見の共有が期待できることから、実施の意義は大きい。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

エチオピアでは、感染症由来の疾患は死因全体の 36.24%であるが、同国には特別感染隔離室を有する病院はなく、感染症対策は脆弱である。同国政府は 10 ヶ年開発計画（2021-2030）で医療体制強化を掲げており、同国の感染症治療強化のためには、聖ペトロ病院の治療、教育、研究機能強化が必要である。

聖ペトロ病院は、保健省より感染症に係る中核的拠点と位置付けられる、感染症専門の高次医療機関であり、二次医療施設から感染症患者を受け入れている。しかし、陰圧管理設備はなく、他疾患患者の病室と隣り合う病室で結核患者の治療が行われている。狭小な医療施設や機材不足により、内科病棟の病床使用率は 98%とひっ迫しており、人工呼吸器挿管を要する呼吸器感染症患者の救命率は 50%に留まる。また、他病院の医療従事者に対し感染症治療・対策に係る研修を行っているが、感染予防設備を備えた施設や機材の不足により、臨床実習は実施できていない。なお、診断や治療法確立に向けた臨床研究実施は、高次医療機関の役割の一つである。

かかる状況を踏まえ、アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画（以下「本事業」という。）は、聖ペトロ病院が感染症専門の高次医療機関としての役割を果たすべく、感染症治療及び研修に必要な施設・機材を整備するものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】外来（感染症科）、一般感染症病床（40 床）、特別感染隔離病床（2 床）。計約 2,900 m²。地上 3 階建。

【機材】CT スキャン（1 台）、デジタル X 線（1 台）、モバイル X 線（1 台）、人工呼吸器、超音波診断装置、患者監視装置、滅菌機、ベッド等

イ) コンサルティング・サービス/ ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、調達管理、施工監理、機材及び施設維持管理に係る技術支援等。

② 期待される開発効果

リファラル受け入れ件数の増加（COVID-19 除く）（3,488 件/年→4,200 件/年）、感染症患者の新規入院受け入れ件数増加（2,051 件/年→2,700 件/年）及び機材整備により聖ペトロ病院利用者（年間約 19 万人）に対する感染症診断・治療能力の向上への貢献が期待される。また、臨床実習を伴う感染症対策研修の受講者数の増加を通じて、感染症対策研修の質の向上への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health）、聖ペトロ病院

④ 他機関との連携・役割分担：アフリカ CDC 感染予防・管理部門との連携を通じて、聖ペトロ病院での治療・教育・研究の知見・教訓がアフリカ域内に展開され、広域の感染予防・管理強化に資することが期待される。

⑤ 運営／維持管理体制：総従業員数約 1,260 人（医療職約 930 人、事務職約 340 人）。施設・機材の保守管理部門にはバイオメディカルエンジニアを含む 22 名の職員を有する。保健省は人員増加も進めている。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：WHO、USAID、米国 CDC、KOICA が感染症対策分野で同国への支援を実施し、米国 CDC・USAID、Global Fund が感染症に係る研修で聖ペトロ病院を活用しているが、既存の研修は座学にとどまっている。
- 平和構築アセスメント（2023）では、同国の不安定要因として、脆弱なガバナンスや紛争影響地域の基礎的サービス（保健、教育等）の悪化等が挙げられる。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- ウガンダ共和国「西部ウガンダ地域医療施設改善計画」（評価年度：2018 年度）の事後評価では、適切な施設・機材の維持管理には、先方政府で必要な予算が措置されるとともに、技術面でも十分な人員配置が重要とされていること

から、本事業でも担当省庁及び実施機関での必要な措置について働きかける。

以 上

[別添資料] エチオピア アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画 地図

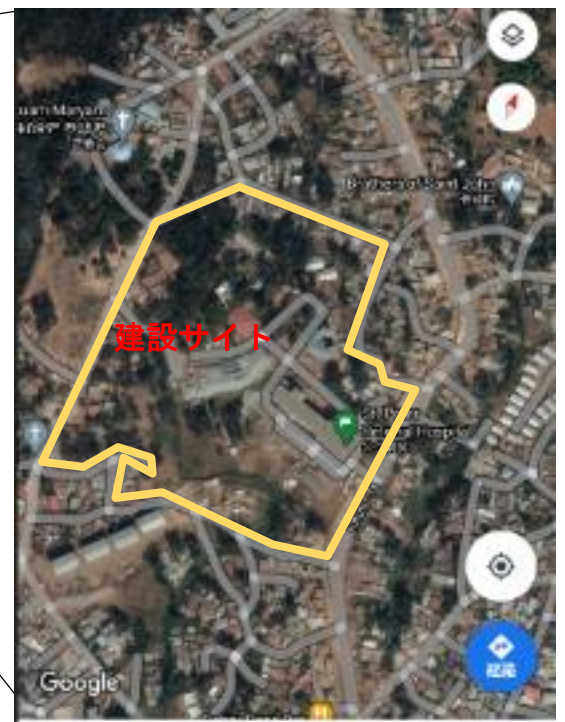
[別添資料] エチオピア アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画 写真

[別添資料] エチオピア アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画 地図



アディスアベバ

【事業サイト地図】



(出典：Google Maps (地図データ©2023 INEGI、Google) よりJICA作成)

〔別添資料〕エチオピア アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画 写真
写真「多剤耐性結核病棟多床室」



空調管理はなく
出入口を開放し
換気するのみ

写真「故障し使われなくなったポータブルレントゲン」



写真「救急病棟 感染隔離部屋」

